



平成23年8月4日

各 位

## ガイアホールディングス株式会社

東京都新宿区西早稲田二丁目18番18号

(コード番号：3727 東証マザーズ)

代表者 代表取締役 鈴木 智也

問合せ先 取締役 伊藤 洋

電話番号 03-5286-8436

### 当社子会社（株式会社ジー・モード）の業績予想の公表に関するお知らせ

当社子会社である株式会社ジー・モードが、平成23年12月期第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）並びに平成23年12月期通期（平成23年4月1日～平成23年12月31日）の連結業績予想を、別添資料のとおり公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、上記による当社の連結業績予想への影響につきましては、精査が完了次第お知らせいたします。

以上

各 位

会 社 名 株式会社 ジー・モード  
 代表者名 代表取締役社長 郡山 龍  
 (JASDAQコード2333)  
 問合せ先  
 役職・氏名 取締役管理本部長 善村 賢治  
 電 話 03-5456-3780

## 業績予想の公表に関するお知らせ

平成 23 年 5 月 6 日公表の「平成 23 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」ならびに平成 23 年 5 月 19 日公表の「決算期変更及び定款一部変更に関するお知らせ」において、平成 23 年 12 月期の連結業績予想を未定としておりましたが、下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想について

平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	2,480	50	40	40	353.41
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	2,395	△72	△84	△94	△833.11

平成 23 年 12 月期通期連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	3,800	0	0	0	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	5,041	23	26	△48	△424.16

(注)当社は、決算期を毎年 3 月 31 日から毎年 12 月 31 日に変更しております。このため、決算期変更の経過期間となる平成 23 年 12 月期通期連結業績予想については、9 か月間 (平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで) の予想数値を記載しております。なお、前期実績 (平成 23 年 3 月期) については、12 か月間 (平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで) の実績数値を記載しております。

#### 2. 公表の理由

平成 23 年 12 月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災の影響により、合理的な算定ができないため未定としておりましたが、最近の市場環境、当社企業グループ業績動向などを考慮した結果、一定の見極めが可能と判断しましたので、現時点において入手可能な情報や

予測等に基づき、上記のとおり公表いたします。

業績予想の前提となる東日本大震災の影響につきましては、電力供給不足や被災地における課金会員に対する債務免除発生などのリスクは今後も残りますが、震災発生直後のプロモーション自粛やコンテンツ利用者の消費マインド低下による影響は限定的であると判断しております。また、今夏の節電対策等の準備もほぼ整っております。

このような状況のもと、当社におきましては、追加課金型サービスの拡充や課金転換率の高いコンテンツの運用強化などにより、利益確保に注力する一方、新たな収益基盤の確立に向け、スマートフォン版月額サイトの立上げ、「ドコモマーケット」などオープンプラットフォームへの対応強化に取り組んでおります。オープンソーシャルの分野におきましては、事業基盤の拡充に向けて、ソーシャルアプリを追加投入するとともに、主力コンテンツのスマートフォン対応を加速させてまいります。また、損益面におきましては、事業環境への最適化と中長期を見据えた新たな成長エンジンの構築に向け、第2四半期以降、積極的な投資を実施するとともに、中期的な利益確保に向けて、引き続き、事業体制の最適化とコスト効率化による一層の体質強化に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、平成23年12月期の当社企業グループの業績といたしましては、売上高38億円、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも0百万円と予想しております。

なお、当該事業年度が変則決算(9か月)であるため、平成24年12月期第2四半期累計期間における連結業績予想につきましても開示が求められるところではありますが、携帯電話市場の将来動向に加え、コンテンツ提供先プラットフォームや競合先の拡大、ユーザーニーズの多様化など当社事業を取巻く環境が極めて不透明であることから、現時点では未定とさせていただき、今後の業績推移や事業環境などを勘案した上で、決定しだい速やかに開示を行う予定です。

(注) 上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上